

神奈川支部

2026. 5. 30 元国内奨学生黄昱(こう いく)さんのお話を聞く会

2026年5月30日(土)10時より、  
横浜駅西口の県民活動サポートセンター 710号室にて  
2013年度国内奨学生、現在、立正大学経済学部専任講師である  
黄昱(こう いく)さんから次のタイトルでお話を伺います。



日本近世における中国志怪説話の通俗化の諸相

副題(仮)～疫病退治のはなしをめぐって～

#### ・内容紹介

現代の学問体系においては、超自然現象や幽霊・化物にまつわる怪異譚と、本草書・医学書とは、文学と医学、あるいは人文科学と自然科学という対立的な領域に属するものとして捉えられがちである。しかし中国では古来、本草学・医学の資料に怪異譚が用いられる例が散見され、怪異の記録には、いわゆる「科学」として認識される側面もあった。

本報告では、疫病退治にまつわる不思議なお札である「異僧符」と、中国および日本に伝わる「人が水と化す」話型の説話という二つの事例を取り上げる。これら中国由来の説話が日本に伝わったのち、怪異譚として文学の世界で展開し、さらに娯楽化・通俗化していく過程を考察する。

定員24名の会場です。お申込み・お問合せは、支部長穂田(連絡先: [akinokobuta★icloud.com](mailto:akinokobuta★icloud.com) ~ ★を@にかえてください) または鷺見八重子さんへ前日までにお願いします。お時間が許すなら講演後のランチもご一緒なさいませんか。